

平成21年3月期 第2四半期決算短信

平成20年11月14日

上場会社名 株式会社 ふくおかフィナンシャルグループ
 コード番号 8354 URL <http://www.fukuoka-fg.com/>
 代表者 (役職名) 取締役会長兼社長 (氏名) 谷 正明
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長 (氏名) 吉田 泰彦
 四半期報告書提出予定日 平成20年11月26日 配当支払開始予定日 平成20年12月10日
 特定取引勘定設置の有無 有

上場取引所 東 大 福

TEL 092-723-2502

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年中間増減率)

	経常収益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年9月中間期	148,069	20.0	18,836	△26.0	10,599	△16.6
19年9月中間期	123,386	—	25,449	—	12,709	—

	1株当たり中間純利益	潜在株式調整後1株当たり中間純利益
	円 銭	円 銭
20年9月中間期	12.22	—
19年9月中間期	16.58	—

(注)当社は、平成19年4月2日設立のため、平成19年9月中間期の対前年中間増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産	連結自己資本比率(第二基準)
	百万円	百万円	%	円 銭	%
20年9月中間期	11,369,836	590,154	4.4	583.05	8.92
20年3月期	11,363,902	592,516	4.5	586.47	8.76

(参考)自己資本 20年9月中間期 508,838百万円 20年3月期 511,672百万円

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末少数株主持分)を期末資産の部の合計で除して算出しております。

(注2)「連結自己資本比率(第二基準)」は、「銀行法第52条の25の規定に基づき、銀行持株会社が銀行持株会社及びその子会社の保有する資産等に照らし、それらの自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第20号)」に基づき算出しております。尚、平成20年9月中間期は速報値であります。

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
(基準日)	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
20年3月期	—	4.50	—	2.50	7.00
21年3月期	—	4.00	—	—	—
21年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注)配当予想の当四半期における修正の有無 無

(注2)上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利の異なる種類株式(非上場)の配当状況については、3ページ「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成21年3月期の連結業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	276,000	△0.6	53,000	104.9	25,000	—	28.89

(注)連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

(注2)平成20年11月14日付で公表いたしました「当社グループにおける事業再生支援の取組み強化について」による業績への影響については、スキームの詳細が決定していないため、現時点では明らかではありません。従って、平成21年3月期の連結業績予想には反映しておりません。業績への影響につきましては、スキームの詳細が決定され、修正の必要が生じた場合は速やかにお知らせいたします。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 — 社(社名)) 除外 — 社(社名)

(2) 中間連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(中間連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
② ①以外の変更 無

(注)詳細は、4ページ及び5ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	20年9月中間期	859,761,868株	20年3月期	859,761,868株
② 期末自己株式数	20年9月中間期	3,340,688株	20年3月期	3,512,044株
③ 期中平均株式数(中間期)	20年9月中間期	856,279,317株	19年9月中間期	758,413,020株

(個別業績の概要)

1. 平成21年3月期第2四半期(中間期)の個別業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前年中間増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年9月中間期	6,084	△83.3	4,078	△88.4	2,857	△91.8	2,854	△91.8
19年9月中間期	36,449	—	35,228	—	34,924	—	34,948	—

	1株当たり中間純利益
	円 銭
20年9月中間期	3.16
19年9月中間期	45.03

(注)当社は、平成19年4月2日設立のため、平成19年9月中間期の対前年中間増減率は記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
20年9月中間期	637,412	491,117	77.0	560.17
20年3月期	637,643	490,476	76.9	559.54

(参考) 自己資本 20年9月中間期 491,117百万円 20年3月期 490,476百万円

(注)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権)を期末資産の部の合計で除して算出しております。

2. 平成21年3月期の個別業績予想(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	営業収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,500	△77.8	1,500	△95.6	1,500	△95.6	1.43

(注)平成20年11月14日付で公表いたしました「当社グループにおける事業再生支援の取組み強化について」による業績への影響については、スキームの詳細が決定していないため、現時点では明らかではありません。従って、平成21年3月期の個別業績予想には反映しておりません。業績への影響につきましては、スキームの詳細が決定され、修正の必要が生じた場合は速やかにお知らせいたします。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・当社は、特定事業会社(企業内容等の開示に関する内閣府令第17条の15第2項に規定する事業を行う会社)に該当するため、当第2四半期会計期間については、中間連結財務諸表および中間財務諸表を作成しております。

・業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は予想数値と異なる結果となる可能性があります。

種類株式の配当の状況

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る1株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

■第一種優先株式

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年3月期	円 銭 —	円 銭 7 00	円 銭 —	円 銭 7 00	円 銭 14 00
21年3月期	—	7 00			14 00
21年3月期(予想)			—	7 00	

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当中間期の我が国の経済は、世界経済の減速、原油価格の高騰など地球規模での経済変化の影響により、企業の収益環境は大幅に悪化し、また先行きの不透明感から個人消費の停滞も進むなど、景気の停滞感が強まりました。8月には、貿易収支が単月で7ヶ月ぶりに貿易赤字になるなど、世界経済減速の影響は我が国の実態経済にも深刻な影響を及ぼし始めています。

金融面では、米国における金融不安の高まりを受けて、日経平均株価については5月の1万4千円台から当中間期末時点で1万1千円台まで下落、併せて証券化商品の価格も大きく下落しました。米ドル相場については、当中間期間においては100円～110円のレンジで推移しましたが10月に入り、急激な円高傾向を示しています。

このような環境のもと、当社グループは高度で良質な金融商品・サービスの提供を通し、業績の一層の伸展と地域社会への貢献に努めてまいりました。

当中間連結会計期間の主要損益につきましては、経常収益は貸出金利息の増強等に努めました結果、1,480億6千9百万円となりました。経常費用は、有価証券の減損や信用コストの増加等により1,292億3千3百万円となりました。その結果、経常利益は188億3千6百万円、中間純利益は105億9千9百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 預金・譲渡性預金

預金・譲渡性預金の期末残高は、前年度末比53億円増加し10兆1,127億円となりました。

(2) 貸出金

貸出金の期末残高は、住宅ローンが堅調に推移しましたが、親和銀行の店舗統廃合及び不良債権のオフバランス化等を主因に、前年度末比249億円減少し7兆9,525億円となりました。

(3) 有価証券

有価証券の期末残高は、安全性と収益性の両面に留意して投資の多様化を図りました結果、前年度末比58億円減少し2兆3,580億円となりました。

(4) 資産運用商品

お客様の多様化する資産運用ニーズにお応えしました結果、3行合算で個人預かり資産の当期末残高は、前年度末比163億円増加し1兆3,327億円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年11月14日付で公表いたしました「当社グループにおける事業再生支援の取り組み強化について」による業績への影響については、スキームの詳細が決定していないため、現時点では明らかなではありません。従って、平成21年3月期の連結業績予想には反映しておりません。

業績への影響につきましては、スキームの詳細が決定され、修正の必要が生じた場合は速やかにお知らせいたします。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 中間連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

（棚卸資産の評価に関する会計基準）

一部の連結子会社において保有するたな卸資産については、従来、主として個別法による原価法によっておりましたが、当中間連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準第9号平成18年7月5日）が適用されたことに伴い、主として個別法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法）により算定しております。

この変更により、税金等調整前中間純利益は158百万円減少しております。

(リース取引に関する会計基準)

所有権移転外ファイナンス・リース取引については、従来、賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっておりましたが、「リース取引に関する会計基準」(企業会計基準第13号平成19年3月30日)及び「リース取引に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第16号同前)が平成20年4月1日以後開始する連結会計年度から適用されることになったため、当中間連結会計期間から同会計基準及び適用指針を適用しております。また、当該取引に係るリース資産の減価償却の方法については、リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。これによる当中間連結貸借対照表等に与える影響は軽微であります。

なお、リース取引開始日が平成20年4月1日前に開始する連結会計年度に属する所有権移転外ファイナンス・リース取引につきましては、通常の賃貸借取引に係る方法に準じて会計処理を行っております。

5. 中間連結財務諸表

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当中間連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
現金預け金	349,598	347,944
コールローン及び買入手形	120,930	76,557
買入金銭債権	162,051	174,736
特定取引資産	3,603	10,425
金銭の信託	—	3,524
有価証券	2,358,034	2,363,835
貸出金	7,952,550	7,977,486
外国為替	6,983	5,140
その他資産	115,643	126,470
有形固定資産	187,135	180,645
無形固定資産	187,193	189,400
繰延税金資産	69,344	63,082
支払承諾見返	78,943	88,845
貸倒引当金	△ 222,066	△ 244,105
投資損失引当金	△ 110	△ 88
資産の部合計	11,369,836	11,363,902
負債の部		
預金	9,697,255	9,837,935
譲渡性預金	415,536	269,481
コールマネー及び売渡手形	18,000	2,504
債券貸借取引受入担保金	55,196	42,371
特定取引負債	—	7
借入金	177,196	203,808
外国為替	622	782
短期社債	20,000	50,000
社債	160,096	133,796
その他負債	118,325	101,224
退職給付引当金	970	2,266
利息返還損失引当金	1,145	1,162
睡眠預金払戻損失引当金	3,536	3,838
その他の偶発損失引当金	168	272
再評価に係る繰延税金負債	32,402	32,779
負ののれん	285	307
支払承諾	78,943	88,845
負債の部合計	10,779,682	10,771,385
純資産の部		
資本金	124,799	124,799
資本剰余金	104,625	104,697
利益剰余金	233,458	224,572
自己株式	△ 3,068	△ 3,206
株主資本合計	459,815	450,862
その他有価証券評価差額金	3,429	17,348
繰延ヘッジ損益	△ 1,316	△ 4,008
土地再評価差額金	46,910	47,469
評価・換算差額等合計	49,023	60,809
少数株主持分	81,315	80,844
純資産の部合計	590,154	592,516
負債及び純資産の部合計	11,369,836	11,363,902

(2) 中間連結損益計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成19年 4 月 2 日 至 平成19年 9 月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 9 月30日)
経常収益	123,386	148,069
資金運用収益	88,481	109,277
(うち貸出金利息)	67,360	86,575
(うち有価証券利息配当金)	18,548	19,064
役務取引等収益	19,574	22,709
特定取引収益	330	113
その他業務収益	7,736	6,667
その他経常収益	7,263	9,301
経常費用	97,936	129,233
資金調達費用	21,981	25,343
(うち預金利息)	10,008	14,871
役務取引等費用	6,217	8,055
特定取引費用	0	—
その他業務費用	6,243	12,681
営業経費	49,034	65,894
その他経常費用	14,459	17,258
経常利益	25,449	18,836
特別利益	59	1,795
固定資産処分益	56	297
償却債権取立益	3	1,496
その他の特別利益	—	1
特別損失	750	2,078
固定資産処分損	417	1,507
減損損失	332	306
その他の特別損失	—	264
税金等調整前中間純利益	24,759	18,553
法人税、住民税及び事業税	8,548	9,616
法人税等調整額	2,726	△ 3,321
法人税等合計	—	6,295
少数株主利益	774	1,658
中間純利益	12,709	10,599

(3) 中間連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成19年 4 月 2 日 至 平成19年 9 月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 9 月30日)
株主資本		
資本金		
前期末残高	79,890	124,799
当中間期変動額		
株式移転による増減	20,109	—
新株の発行	24,799	—
当中間期変動額合計	44,908	—
当中間期末残高	124,799	124,799
資本剰余金		
前期末残高	58,165	104,697
当中間期変動額		
株式移転による増減	43,060	—
新株の発行	29,666	—
自己株式の処分	5,359	△ 72
自己株式の消却	△31,551	—
当中間期変動額合計	46,534	△ 72
当中間期末残高	104,699	104,625
利益剰余金		
前期末残高	231,025	224,572
当中間期変動額		
剰余金の配当	△3,205	△ 2,271
中間純利益	12,709	10,599
土地再評価差額金の取崩	371	559
当中間期変動額合計	9,875	8,886
当中間期末残高	240,900	233,458
自己株式		
前期末残高	△10,758	△ 3,206
当中間期変動額		
株式移転による増減	△31,781	—
自己株式の取得	△147	△ 81
自己株式の処分	11,009	219
自己株式の消却	31,551	—
連結子会社の増加	△2,215	—
当中間期変動額合計	8,416	138
当中間期末残高	△2,341	△ 3,068
株主資本合計		
前期末残高	358,322	450,862
当中間期変動額		
株式移転による増減	31,387	—
新株の発行	54,465	—
剰余金の配当	△3,205	△ 2,271
中間純利益	12,709	10,599
自己株式の取得	△147	△ 81
自己株式の処分	16,369	147
土地再評価差額金の取崩	371	559
連結子会社の増加	△2,215	—
当中間期変動額合計	109,735	8,952
当中間期末残高	468,058	459,815

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月2日 至 平成19年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		
前期末残高	45,912	17,348
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△14,791	△ 13,919
当中間期変動額合計	△14,791	△ 13,919
当中間期末残高	31,121	3,429
繰延ヘッジ損益		
前期末残高	△77	△ 4,008
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△99	2,692
当中間期変動額合計	△99	2,692
当中間期末残高	△177	△ 1,316
土地再評価差額金		
前期末残高	46,955	47,469
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△371	△ 559
当中間期変動額合計	△371	△ 559
当中間期末残高	46,583	46,910
評価・換算差額等合計		
前期末残高	92,790	60,809
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△15,262	△ 11,786
当中間期変動額合計	△15,262	△ 11,786
当中間期末残高	77,527	49,023
少数株主持分		
前期末残高	51,393	80,844
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	5,210	471
当中間期変動額合計	5,210	471
当中間期末残高	56,603	81,315
純資産合計		
前期末残高	502,506	592,516
当中間期変動額		
株式移転による増減	31,387	—
新株の発行	54,465	—
剰余金の配当	△3,205	△ 2,271
中間純利益	12,709	10,599
自己株式の取得	△147	△ 81
自己株式の処分	16,369	147
土地再評価差額金の取崩	371	559
連結子会社の増加	△2,215	—
株主資本以外の項目の当中間期変動額(純額)	△10,052	△ 11,314
当中間期変動額合計	99,682	△ 2,362
当中間期末残高	602,189	590,154

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

6. 中間財務諸表

(1) 中間貸借対照表

(単位：百万円)

	当中間会計期間末 (平成20年 9 月30日)	前事業年度の 要約貸借対照表 (平成20年 3 月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,761	1,678
未収還付法人税等	800	7,001
前払費用	82	206
未収収益	2	5
その他	13	—
流動資産合計	8,660	8,891
固定資産		
投資その他の資産	628,752	628,752
関係会社株式	628,752	628,752
固定資産合計	628,752	628,752
資産合計	637,412	637,643
負債の部		
流動負債		
短期借入金	70,000	70,000
短期社債	20,000	50,000
未払金	420	1,281
未払費用	211	120
未払法人税等	20	29
未払消費税等	20	118
その他	22	17
流動負債合計	90,695	121,567
固定負債		
社債	55,600	25,600
固定負債合計	55,600	25,600
負債合計	146,295	147,167
純資産の部		
株主資本		
資本金	124,799	124,799
資本剰余金		
資本準備金	54,666	54,666
その他資本剰余金	281,033	281,105
資本剰余金合計	335,699	335,771
利益剰余金		
その他利益剰余金	30,622	30,047
繰越利益剰余金	30,622	30,047
利益剰余金合計	30,622	30,047
自己株式	△ 3	△ 142
株主資本合計	491,117	490,476
純資産合計	491,117	490,476
負債純資産合計	637,412	637,643

(2) 中間損益計算書

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自 平成19年 4 月 2 日 至 平成19年 9 月30日)	当中間会計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 9 月30日)
営業収益		
関係会社受取配当金	34,998	3,995
関係会社受入手数料	1,450	2,088
営業収益合計	36,449	6,084
営業費用		
販売費及び一般管理費	1,220	2,006
営業費用合計	1,220	2,006
営業利益	35,228	4,078
営業外収益		
受取利息	0	4
雑収入	3	23
営業外収益合計	3	28
営業外費用		
支払利息	14	386
社債利息	—	517
短期社債利息	—	212
株式交付費	270	—
社債発行費	—	131
雑損失	22	1
営業外費用合計	307	1,248
経常利益	34,924	2,857
税引前中間純利益	34,924	2,857
法人税、住民税及び事業税	4	2
法人税等調整額	△ 27	—
法人税等合計	—	2
中間純利益	34,948	2,854

(3) 中間株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自 平成19年 4 月 2 日 至 平成19年 9 月 30 日)	当中間会計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 9 月 30 日)
株主資本		
資本金		
前期末残高	—	124,799
当中間期変動額		
新株の発行	124,799	—
当中間期変動額合計	124,799	—
当中間期末残高	124,799	124,799
資本剰余金		
資本準備金		
前期末残高	—	54,666
当中間期変動額		
新株の発行	54,666	—
当中間期変動額合計	54,666	—
当中間期末残高	54,666	54,666
その他資本剰余金		
前期末残高	—	281,105
当中間期変動額		
新株の発行	296,492	—
自己株式の処分	△2	△ 72
自己株式の消却	△15,381	—
当中間期変動額合計	281,107	△ 72
当中間期末残高	281,107	281,033
資本剰余金合計		
前期末残高	—	335,771
当中間期変動額		
新株の発行	351,158	—
自己株式の処分	△2	△ 72
自己株式の消却	△15,381	—
当中間期変動額合計	335,773	△ 72
当中間期末残高	335,773	335,699
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金		
前期末残高	—	30,047
当中間期変動額		
剰余金の配当	—	△ 2,280
中間純利益	34,948	2,854
当中間期変動額合計	34,948	574
当中間期末残高	34,948	30,622
利益剰余金合計		
前期末残高	—	30,047
当中間期変動額		
剰余金の配当	—	△ 2,280
中間純利益	34,948	2,854
当中間期変動額合計	34,948	574
当中間期末残高	34,948	30,622

(単位：百万円)

	前中間会計期間 (自 平成19年4月2日 至 平成19年9月30日)	当中間会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
自己株式		
前期末残高	—	△ 142
当中間期変動額		
自己株式の取得	△15,511	△ 81
自己株式の処分	21	219
自己株式の消却	15,381	—
当中間期変動額合計	△108	138
当中間期末残高	△108	△ 3
株主資本合計		
前期末残高	—	490,476
当中間期変動額		
新株の発行	475,957	—
剰余金の配当	—	△ 2,280
中間純利益	34,948	2,854
自己株式の取得	△15,511	△ 81
自己株式の処分	19	147
当中間期変動額合計	495,413	640
当中間期末残高	495,413	491,117
純資産合計		
前期末残高	—	490,476
当中間期変動額		
新株の発行	475,957	—
剰余金の配当	—	△ 2,280
中間純利益	34,948	2,854
自己株式の取得	△15,511	△ 81
自己株式の処分	19	147
当中間期変動額合計	495,413	640
当中間期末残高	495,413	491,117

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

【参考】

平成21年3月期 第2四半期決算短信（株式会社 福岡銀行）

平成20年11月14日

会 社 名 株式会社 福岡銀行

代 表 者 取締役頭取

谷 正 明

(URL <http://www.fukuokabank.co.jp/>)

問合せ先責任者 執行役員経営管理部長

吉 田 泰 彦

TEL (092) 723-2622

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（平成20年4月1日～平成20年9月30日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年中間期増減率)

	経常収益	経常利益	中間純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %
20年9月中間期	107,019 0.3	18,663 90.0	9,883 91.8
19年9月中間期	106,672 21.7	9,821 △ 67.1	5,153 △ 70.6

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率（注1）
	百万円	百万円	%
20年9月中間期	8,246,378	462,969	4.9
20年3月期	8,095,508	466,659	5.1

	連結自己資本比率 （国内基準）（注2）
	%
20年9月中間期	9.69
20年3月期	9.61

(参考) 自己資本 20年9月中間期 411,724百万円 20年3月期 415,887百万円

(注1)「自己資本比率」は、（期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末少数株主持分）を期末資産の部の合計で除して算出しております。

(注2)「連結自己資本比率（国内基準）」は、「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準（平成18年金融庁告示第19号）」に基づき算出しております。

※その他特記事項

・当行は、特定事業会社(企業内容等の開示に関する内閣府令第17条の15第2項に規定する事業を行う会社)に該当するため、当第2四半期会計期間については、中間連結財務諸表を作成しております。

【中間連結財務諸表】

1. 中間連結貸借対照表

株式会社 福岡銀行

(単位：百万円)

	当中間連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
現金預け金	281,655	267,411
コールローン及び買入手形	93,002	48,557
債券貸借取引支払保証金	55,078	17,358
買入金銭債権	161,224	173,859
特定取引資産	3,447	9,749
有価証券	1,584,871	1,583,195
貸出金	5,809,452	5,733,703
外国為替	4,910	3,012
その他資産	94,593	107,394
有形固定資産	139,789	132,627
無形固定資産	10,167	9,510
繰延税金資産	33,682	26,824
支払承諾見返	64,584	62,728
貸倒引当金	△ 90,080	△ 80,424
資産の部合計	8,246,378	8,095,508
負債の部		
預金	6,765,010	6,801,098
譲渡性預金	350,749	224,412
コールマネー及び売渡手形	152,458	77,978
債券貸借取引受入担保金	55,196	42,371
特定取引負債	—	7
借入金	167,000	193,260
外国為替	599	759
社債	105,596	109,296
その他負債	85,163	79,053
退職給付引当金	464	459
利息返還損失引当金	1,112	1,115
睡眠預金払戻損失引当金	2,887	3,226
その他の偶発損失引当金	167	271
再評価に係る繰延税金負債	32,402	32,779
負ののれん	14	29
支払承諾	64,584	62,728
負債の部合計	7,783,408	7,628,849
純資産の部		
資本金	82,329	82,329
資本剰余金	60,587	60,587
利益剰余金	216,675	210,228
株主資本合計	359,592	353,145
その他有価証券評価差額金	6,538	19,281
繰延ヘッジ損益	△ 1,316	△ 4,008
土地再評価差額金	46,910	47,469
評価・換算差額等合計	52,132	62,742
少数株主持分	51,245	50,772
純資産の部合計	462,969	466,659
負債及び純資産の部合計	8,246,378	8,095,508

2. 中間連結損益計算書

株式会社 福岡銀行

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
経常収益	106,672	107,019
資金運用収益	74,342	76,665
(うち貸出金利息)	54,409	58,463
(うち有価証券利息配当金)	17,403	14,633
役務取引等収益	17,142	15,947
特定取引収益	330	93
その他業務収益	7,723	6,721
その他経常収益	7,132	7,591
経常費用	96,850	88,355
資金調達費用	19,980	19,716
(うち預金利息)	8,166	9,749
役務取引等費用	5,092	5,464
特定取引費用	0	—
その他業務費用	5,103	7,423
営業経費	38,942	40,312
その他経常費用	27,730	15,438
経常利益	9,821	18,663
特別利益	56	85
固定資産処分益	56	85
特別損失	741	958
固定資産処分損	409	942
減損損失	332	16
税金等調整前中間純利益	9,136	17,790
法人税、住民税及び事業税	1,235	9,344
法人税等調整額	1,954	△ 2,678
法人税等合計	—	6,666
少数株主利益	792	1,240
中間純利益	5,153	9,883

3. 中間連結株主資本等変動計算書

株式会社 福岡銀行

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
株主資本		
資本金		
前期末残高	79,890	82,329
当中間期変動額		
新株予約権の行使	2,438	—
当中間期変動額合計	2,438	—
当中間期末残高	82,329	82,329
資本剰余金		
前期末残高	58,165	60,587
当中間期変動額		
新株予約権の行使	2,428	—
自己株式の処分	△6	—
当中間期変動額合計	2,421	—
当中間期末残高	60,587	60,587
利益剰余金		
前期末残高	231,025	210,228
当中間期変動額		
剰余金の配当	△38,204	△ 3,995
中間純利益	5,153	9,883
土地再評価差額金の取崩	371	559
当中間期変動額合計	△32,678	6,447
当中間期末残高	198,346	216,675
自己株式		
前期末残高	△10,758	—
当中間期変動額		
自己株式の取得	△18	—
自己株式の処分	10,776	—
当中間期変動額合計	10,758	—
当中間期末残高	—	—
株主資本合計		
前期末残高	358,322	353,145
当中間期変動額		
新株予約権の行使	4,866	—
剰余金の配当	△38,204	△ 3,995
中間純利益	5,153	9,883
自己株式の取得	△18	—
自己株式の処分	10,770	—
土地再評価差額金の取崩	371	559
当中間期変動額合計	△17,059	6,447
当中間期末残高	341,263	359,592

株式会社 福岡銀行

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
評価・換算差額等		
其他有価証券評価差額金		
前期末残高	45,912	19,281
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	△13,356	△ 12,743
当中間期変動額合計	△13,356	△ 12,743
当中間期末残高	32,556	6,538
繰延ヘッジ損益		
前期末残高	△77	△ 4,008
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	△99	2,692
当中間期変動額合計	△99	2,692
当中間期末残高	△177	△ 1,316
土地再評価差額金		
前期末残高	46,955	47,469
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	△371	△ 559
当中間期変動額合計	△371	△ 559
当中間期末残高	46,583	46,910
評価・換算差額等合計		
前期末残高	92,790	62,742
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	△13,827	△ 10,609
当中間期変動額合計	△13,827	△ 10,609
当中間期末残高	78,963	52,132
少数株主持分		
前期末残高	51,393	50,772
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	98	472
当中間期変動額合計	98	472
当中間期末残高	51,492	51,245
純資産合計		
前期末残高	502,506	466,659
当中間期変動額		
新株予約権の行使	4,866	—
剰余金の配当	△38,204	△ 3,995
中間純利益	5,153	9,883
自己株式の取得	△18	—
自己株式の処分	10,770	—
土地再評価差額金の取崩	371	559
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	△13,728	△ 10,136
当中間期変動額合計	△30,787	△ 3,689
当中間期末残高	471,718	462,969

4. 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

【参考】

平成21年3月期 第2四半期決算短信 (株式会社 熊本ファミリー銀行)

平成20年11月14日

会 社 名 株式会社 熊本ファミリー銀行

代 表 者 取締役頭取 鈴木 元

(URL <http://www.kf-bank.jp/>)

問合せ先責任者 経営管理部長 佐々木 二也

TEL (096) 385-1116

(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年中間期増減率)

	経常収益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年9月中間期	17,702	1.2	2,054	—	1,826	—
19年9月中間期	17,484	1.3	△ 1,263	—	△ 1,990	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率(注1)
	百万円	百万円	%
20年9月中間期	1,244,895	31,724	0.5
20年3月期	1,220,826	30,369	0.4

	連結自己資本比率 (国内基準) (注2)
	%
20年9月中間期	6.54
20年3月期	6.14

(参考) 自己資本 20年9月中間期 6,723百万円 20年3月期 5,367百万円

(注1)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末少数株主持分)を期末資産の部の合計で除して算出しております。

(注2)「連結自己資本比率(国内基準)」は、「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第19号)」に基づき算出しております。

※その他特記事項

- ・当行は、特定事業会社(企業内容等の開示に関する内閣府令第17条の15第2項に規定する事業を行う会社)に該当するため、当第2四半期会計期間については、中間連結財務諸表を作成しております。

【中間連結財務諸表】

1. 中間連結貸借対照表

株式会社 熊本ファミリー銀行

(単位：百万円)

	当中間連結会計期間末 (平成20年9月30日)	前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成20年3月31日)
資産の部		
現金預け金	22,795	25,230
コールローン及び買入手形	27,202	6,882
買入金銭債権	60	75
有価証券	226,144	227,029
貸出金	920,225	925,203
外国為替	633	613
その他資産	15,479	8,083
有形固定資産	19,369	19,024
無形固定資産	2,878	1,297
繰延税金資産	21,970	21,887
支払承諾見返	10,609	12,329
貸倒引当金	△ 22,474	△ 26,830
資産の部合計	1,244,895	1,220,826
負債の部		
預金	1,104,741	1,120,602
コールマネー及び売渡手形	—	10,000
債券貸借取引受入担保金	55,078	17,358
借入金	10,000	10,000
外国為替	11	6
社債	10,000	10,000
その他負債	20,434	7,839
退職給付引当金	5	24
その他の偶発損失引当金	0	1
睡眠預金払戻損失引当金	184	187
再評価に係る繰延税金負債	2,103	2,107
支払承諾	10,609	12,329
負債の部合計	1,213,170	1,190,457
純資産の部		
資本金	2,802	14,980
資本剰余金	2,802	6,249
利益剰余金	2,529	△ 14,929
株主資本合計	8,133	6,301
その他有価証券評価差額金	△ 2,228	△ 1,758
土地再評価差額金	818	824
評価・換算差額等合計	△ 1,410	△ 933
少数株主持分	25,001	25,002
純資産の部合計	31,724	30,369
負債及び純資産の部合計	1,244,895	1,220,826

2. 中間連結損益計算書

株式会社 熊本ファミリー銀行

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成19年 4 月 1 日 至 平成19年 9 月 30 日)	当中間連結会計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年 9 月 30 日)
経常収益	17,484	17,702
資金運用収益	14,393	13,702
(うち貸出金利息)	13,108	12,328
(うち有価証券利息配当金)	1,144	1,162
役務取引等収益	2,542	2,366
その他業務収益	293	695
その他経常収益	253	937
経常費用	18,747	15,647
資金調達費用	2,241	2,414
(うち預金利息)	1,845	1,992
役務取引等費用	1,197	1,197
その他業務費用	1,185	1,719
営業経費	9,380	8,565
その他経常費用	4,741	1,750
経常利益 (△は経常損失)	△ 1,263	2,054
特別利益	73	129
固定資産処分益	0	22
償却債権取立益	3	105
その他の特別利益	69	1
特別損失	8	434
固定資産処分損	8	55
減損損失	—	113
その他の特別損失	—	264
税金等調整前中間純利益 (△は税金等調整前中間純損失)	△ 1,198	1,749
法人税、住民税及び事業税	21	10
法人税等調整額	789	△ 86
法人税等合計	—	△ 76
少数株主損失	18	0
中間純利益 (△は中間純損失)	△ 1,990	1,826

3. 中間連結株主資本等変動計算書

株式会社 熊本ファミリー銀行

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
株主資本		
資本金		
前期末残高	34,262	14,980
当中間期変動額		
資本金等の取崩(欠損填補)	△25,531	△12,178
当中間期変動額合計	△25,531	△12,178
当中間期末残高	8,730	2,802
資本剰余金		
前期末残高	23,164	6,249
当中間期変動額		
資本金等の取崩(欠損填補)	△23,164	△3,447
当中間期変動額合計	△23,164	△3,447
当中間期末残高	—	2,802
利益剰余金		
前期末残高	△47,784	△14,929
当中間期変動額		
資本金等の取崩(欠損填補)	48,695	15,626
中間純利益(△は中間純損失)	△1,990	1,826
土地再評価差額金の取崩	—	6
当中間期変動額合計	46,704	17,458
当中間期末残高	△1,079	2,529
自己株式		
前期末残高	△121	—
当中間期変動額		
自己株式の処分	121	—
当中間期変動額合計	121	—
当中間期末残高	—	—
株主資本合計		
前期末残高	9,521	6,301
当中間期変動額		
中間純利益(△は中間純損失)	△1,990	1,826
自己株式の処分	121	—
土地再評価差額金の取崩	—	6
当中間期変動額合計	△1,869	1,832
当中間期末残高	7,651	8,133

株式会社 熊本ファミリー銀行

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		
前期末残高	357	△ 1,758
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	△1,437	△ 470
当中間期変動額合計	△1,437	△ 470
当中間期末残高	△1,080	△ 2,228
土地再評価差額金		
前期末残高	833	824
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	—	△ 6
当中間期変動額合計	—	△ 6
当中間期末残高	833	818
評価・換算差額等合計		
前期末残高	1,190	△ 933
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	△1,437	△ 476
当中間期変動額合計	△1,437	△ 476
当中間期末残高	△246	△ 1,410
少数株主持分		
前期末残高	25,032	25,002
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	△18	△ 0
当中間期変動額合計	△18	△ 0
当中間期末残高	25,014	25,001
純資産合計		
前期末残高	35,744	30,369
当中間期変動額		
中間純利益（△は中間純損失）	△1,990	1,826
自己株式の処分	121	—
土地再評価差額金	—	6
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	△1,455	△ 476
当中間期変動額合計	△3,325	1,355
当中間期末残高	32,418	31,724

4. 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

【参考】

平成21年3月期 第2四半期決算短信 (株式会社 親和銀行)

平成20年11月14日

会 社 名 株式会社 親和銀行

代 表 者 取締役頭取 鬼 木 和 夫 (URL <http://www.shinwabank.co.jp/>)問合せ先責任者 執行役員経営管理部長 小 川 正 信 TEL (0956) 23-3579
(百万円未満切捨て)

1. 平成21年3月期第2四半期(中間期)の連結業績(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(1) 連結経営成績 (%表示は対前年中間期増減率)

	経常収益		経常利益		中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
20年9月中間期	27,210	△2.5	△4,100	—	4,844	—
19年9月中間期	27,922	△12.7	△91,591	—	△100,303	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率(注1)
	百万円	百万円	%
20年9月中間期	2,058,322	77,242	3.5
20年3月期	2,114,017	73,714	3.2

	連結自己資本比率 (国内基準) (注2)
	%
20年9月中間期	8.94
20年3月期	8.05

(参考) 自己資本 20年9月中間期 72,174百万円 20年3月期 68,644百万円

(注1)「自己資本比率」は、(期末純資産の部合計－期末新株予約権－期末少数株主持分)を期末資産の部の合計で除して算出しております。

(注2)「連結自己資本比率(国内基準)」は、「銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第19号)」に基づき算出しております。

※その他特記事項

・当行は、特定事業会社(企業内容等の開示に関する内閣府令第17条の15第2項に規定する事業を行う会社)に該当するため、当第2四半期会計期間については、中間連結財務諸表を作成しております。

【中間連結財務諸表】

1. 中間連結貸借対照表

株式会社 親和銀行

(単位：百万円)

	当中間連結会計期間末 (平成20年 9 月 30 日)	前連結会計年度の 要約連結貸借対照表 (平成20年 3 月 31 日)
資産の部		
現金預け金	49,075	58,748
コールローン及び買入手形	137,256	106,591
買入金銭債権	767	801
商品有価証券	155	676
金銭の信託	—	3,524
有価証券	573,775	580,836
貸出金	1,304,060	1,399,872
外国為替	1,440	1,514
その他資産	9,107	8,448
有形固定資産	49,685	50,739
無形固定資産	1,400	1,259
繰延税金資産	23,365	24,176
支払承諾見返	17,915	13,792
貸倒引当金	△109,572	△136,875
投資損失引当金	△110	△88
資産の部合計	2,058,322	2,114,017
負債の部		
預金	1,839,197	1,921,357
譲渡性預金	64,787	45,068
コールマネー及び売渡手形	2,071	—
借入金	11,384	11,841
外国為替	11	16
社債	15,000	15,000
その他負債	13,544	15,057
退職給付引当金	3,525	4,273
睡眠預金払戻損失引当金	464	423
再評価に係る繰延税金負債	12,906	13,194
負ののれん	270	277
支払承諾	17,915	13,792
負債の部合計	1,981,079	2,040,302
純資産の部		
資本金	25,831	93,781
資本剰余金	25,831	56,249
利益剰余金	7,141	△96,480
株主資本合計	58,805	53,550
その他有価証券評価差額金	△3,781	△2,466
土地再評価差額金	17,150	17,560
評価・換算差額等合計	13,369	15,094
少数株主持分	5,068	5,069
純資産の部合計	77,242	73,714
負債及び純資産の部合計	2,058,322	2,114,017

2. 中間連結損益計算書

株式会社 親和銀行

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
経常収益	27,922	27,210
資金運用収益	22,610	19,865
(うち貸出金利息)	18,676	16,328
(うち有価証券利息配当金)	3,204	2,823
役務取引等収益	4,838	4,604
その他業務収益	351	315
その他経常収益	122	2,425
経常費用	119,514	31,310
資金調達費用	4,046	4,004
(うち預金利息)	2,919	3,139
役務取引等費用	1,345	1,526
その他業務費用	1,892	3,616
営業経費	13,992	13,903
その他経常費用	98,236	8,260
経常損失	91,591	4,100
特別利益	824	9,608
固定資産処分益	13	190
貸倒引当金戻入益	—	8,023
償却債権取立益	811	1,390
その他の特別利益	—	5
特別損失	6,651	720
固定資産処分損	258	519
減損損失	6,392	201
税金等調整前中間純利益 (△は税金等調整前中間純損失)	△97,417	4,787
法人税、住民税及び事業税	157	258
法人税、住民税及び事業税還付金	△96	—
法人税等調整額	2,830	△314
法人税等合計	—	△55
少数株主損失	6	0
中間純利益 (△は中間純損失)	△100,303	4,844

3. 中間連結株主資本等変動計算書

株式会社 親和銀行

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
株主資本		
資本金		
前期末残高	45,213	93,781
当中間期変動額		
新株の発行	49,999	—
減資	△7,682	△67,949
当中間期変動額合計	42,317	△67,949
当中間期末残高	87,531	25,831
資本剰余金		
前期末残高	42,442	56,249
当中間期変動額		
新株の発行	49,999	—
資本剰余金の取崩	△42,442	△30,418
当中間期変動額合計	7,557	△30,418
当中間期末残高	49,999	25,831
利益剰余金		
前期末残高	△49,646	△96,480
当中間期変動額		
減資	7,682	67,949
資本剰余金の取崩	42,442	30,418
中間純利益 (△は中間純損失)	△100,303	4,844
土地再評価差額金の取崩	3,239	410
連結子会社の増加	697	—
当中間期変動額合計	△46,242	103,621
当中間期末残高	△95,888	7,141
株主資本合計		
前期末残高	38,008	53,550
当中間期変動額		
新株の発行	99,999	—
中間純利益 (△は中間純損失)	△100,303	4,844
土地再評価差額金の取崩	3,239	410
連結子会社の増加	697	—
当中間期変動額合計	3,633	5,254
当中間期末残高	41,642	58,805

株式会社 親和銀行

(単位：百万円)

	前中間連結会計期間 (自 平成19年4月1日 至 平成19年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金		
前期末残高	3,753	△2,466
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	△752	△1,314
当中間期変動額合計	△752	△1,314
当中間期末残高	3,000	△3,781
土地再評価差額金		
前期末残高	21,623	17,560
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	△3,239	△410
当中間期変動額合計	△3,239	△410
当中間期末残高	18,383	17,150
評価・換算差額等合計		
前期末残高	25,376	15,094
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	△3,992	△1,724
当中間期変動額合計	△3,992	△1,724
当中間期末残高	21,383	13,369
少数株主持分		
前期末残高	5,073	5,069
当中間期変動額		
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	24	△1
当中間期変動額合計	24	△1
当中間期末残高	5,097	5,068
純資産合計		
前期末残高	68,458	73,714
当中間期変動額		
新株の発行	99,999	—
中間純利益（△は中間純損失）	△100,303	4,844
土地再評価差額金の取崩	3,239	410
連結子会社の増加	697	—
株主資本以外の項目の当中間期変動額（純額）	△3,967	△1,726
当中間期変動額合計	△334	3,528
当中間期末残高	68,123	77,242

4. 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。